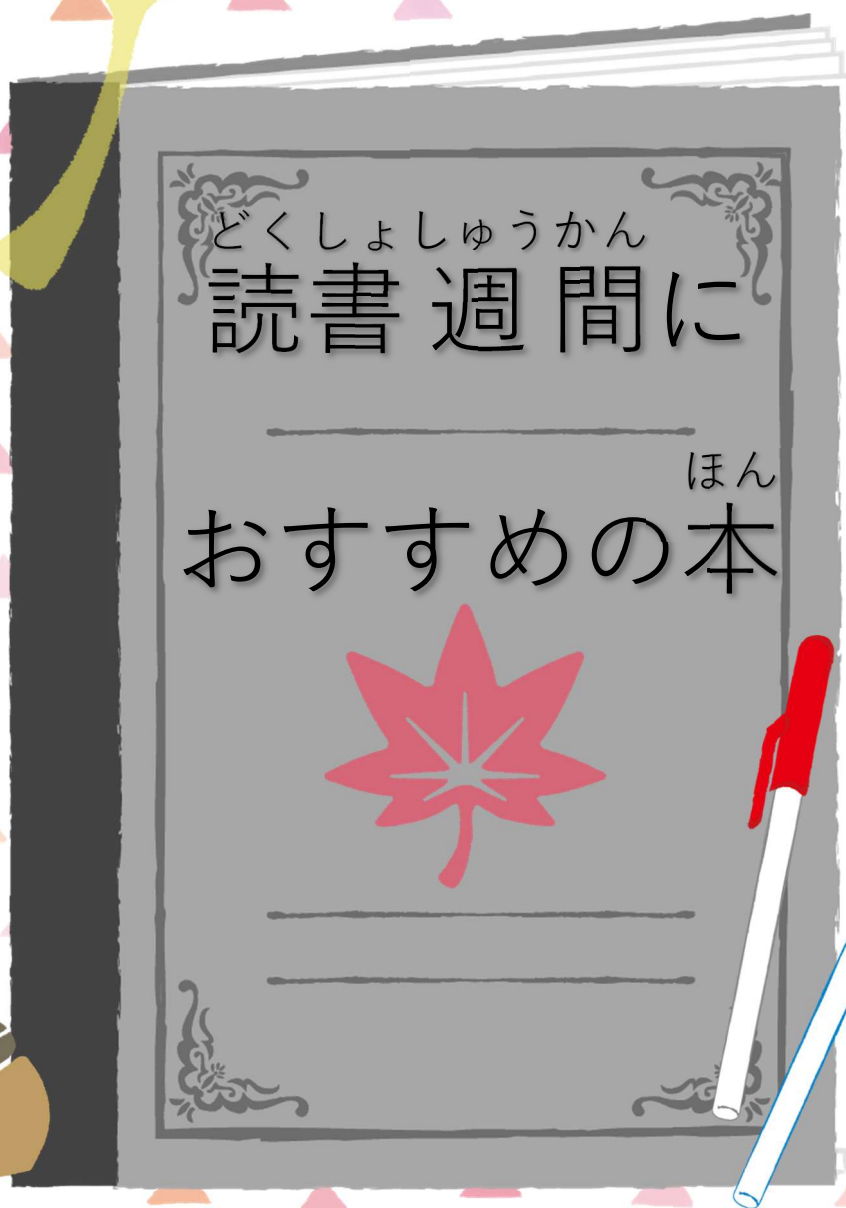


チャイルズタイムス

～みのがせないしんぶん～

2025 年 10 月 No.377



はっこう：さがみおおのとしょかん

でんわ：042-749-2244



4・5・6歳向け



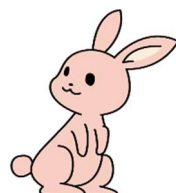
うさぎさんはじぶんのつくったちいさいいすを、「どうぞのいす」と書かれたたてふだといっしょにおきました。

さいしょにやってきたのはろばさん。そのあとつぎつぎといろんなどうぶつがやってきて、たべものを食べていきますが……。

えほん E/か

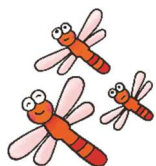
『どうぞのいす』

香山 美子/作 柿本 幸造/絵
ひさかたチャイルド



おとうさんとおさんぽしていると、そこにはすてきなものがいっぱい！ たんぽのぼった、じめんのどんぐり、たくさんのとんぼ……。

あき秋のしぜんをたのしみながら、そこにあるいろいろないきものやしよくぶつを数えてみてくださいね。



えほん E

『あきのおさんぽいいものいくつ?』

おおたぐろ まり/作 福音館書店



みなさんのすきなものはなんですか？

このおはなしに出てくるふたりは、それぞれすきなものがちがいます。「ブランコ」と「すべりたい」、「あつひ」と「さむいひ」、「すっぱいの」と「あまいの」……。ちがうことだらけです。

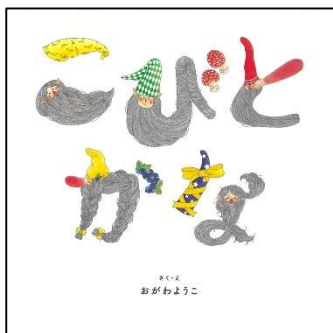
でも、すきなものがちがっても、きっとなかよくなれますよ。



えほん E/コ

『すきなものがちがうけど』

リンダ・アシュマン/文 イヴ・コイ/絵
福本 友美子/訳 ほるぷ出版



ひょうしのもじをよ〜く見てください。気がつきましたか？ じつは、もじの正^{しょうだい}体はこびとなんです！

この本では、こせいゆたかな 46人のこびとたちと、楽しくひらがなをまなべますよ。じぶんのお気に入りのこびとを見つけてみてくださいね。

えほん E/あか/ちしき

『こびとかな』

おがわ ようこ/作・絵 フレーベル館



ようしょく、わしょく、パン、おかしなど、さまざまなりょうりやおやつが 298 しゅるい紹^{しょうかい}介されています。しゃしんとまめちしきがもりだくさんで、見ているだけでおなかいっぱいになっちゃうかも？

「じぶんでよめる」シリーズはほかにも「きょうりゅうずかん」「くるますかん」「はなずかん」などがあります。



ちしき J59

『じぶんでよめるたべものずかん』

成美堂出版編集部/編著 成美堂出版



ある日、強い風にとばされたみのむしくん。おちたところは、ケイちゃんの犬・ポムのおさらのなかでした。ケイちゃんとポムは、みのむしくんが少しずつ大きくなるようすを、ゆったり見まもります。

夏から秋、冬から春へときせつのうつりかわりを感じながら、いっしょに時間のながれを楽しめるおはなしです。



かみしばい C

『みのむしくん』

いちかわ なつこ/脚本・絵
童心社





ねんせい む
1・2年生向け



ものがたり J953/□

『おそうじをおぼえたがらないリスのゲルランゲ』

ジャンヌ・ロッシュ＝マゾン／作 山口 智子／訳
堀内 誠一／絵 福音館書店



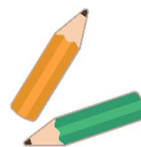
ゲルランゲは、11ぴききょうだいの末っ子の子リスです。元気でかわいく、みんなに好かれていましたが、なぜかおそうじだけはぜったいにしようとしませんでした。そんなある日、おそうじをさぼったゲルランゲはとうとう家を追い出されてしまいます。オオカミに食べられそうになっても、「たべられてもいいんです、オオカミさん。でも、おそうじはおぼえたくありません」と言うごうじょうなゲルランゲ。さて、どうになってしまうのでしょうか。



ものがたり J913/△

『とっておきの詩』

村上 しいこ／作 市居 みか／絵
PHP研究所



つよしは小学2年生。ふゆやすみの国語のしゅくだいは、詩を書くことです。ふゆやすみに入ってずっと考えていたけど、なかなか思いつきません。やっとできた詩をかぞくにきいてもらったけど、「ええことない」と言われてしまいます。

よんだ人にも、いいね、と思ってもらえる詩とは、どんな詩なのでしょう。この本をよむとそれが少しわかるかもしれません。



詩 J911

『みみずのたいそう』

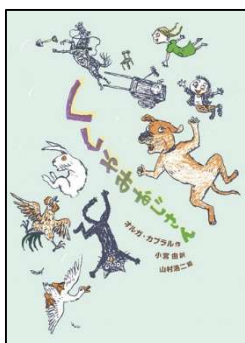
市河 紀子／編 西巻 茅子／絵 のら書店



詩のことが少しわかった後は、じっさいに詩をよんでみるのはどうでしょう？

この本のタイトルにもなっている「みみずのたいそう」や、「どじょうだじょう」など、目次を見るだけでも、どんな詩なのか気になるものがたくさんあります。

同じシリーズで『ぱぴぷぺぽっつん』という本もあります。



ものがたり J933/カ

『くしゃみおじさん』

オルガ・カブラル/作 小宮 由/訳
山村 浩二/絵 岩波書店



ある日、どこかのおじさんが、すなけむりがたつような大きなくしゃみを3回して通り過ぎて行きました。するとそのひょうしに、そばにいた黒いねこの耳と白いうさぎの耳が、なんとあべこべに！ おまけにいぬとねこは、なき声まで入れかわってしまったのです。もともどしてもらおうとおじさんをさがしに行く3びき。でも、くしゃみのせいで変わってしまったのは、その3びきだけではありませんでした。

えほん E/そらいろ/ちしき

『たいせつなたまご』

キッチンミノル/著 白泉社



ゆでたまごや目玉焼き、オムライスなど、いろいろな食べ方ができるたまご。ふだん私たちがよく見かけるたまごは、にわとりから生まれます。そのにわとりをたいせつにそだてないと、健康でおいしいたまごは生まれません。

大事にされているにわとりたちのようすや、たまごが生まれてからをわかりやすく教えてくれるしゃしん絵本です。



かみしばい C

『でっかいぞでっかいぞ』

内田 麟太郎/脚本
田島 征三/絵 童心社

リスはひろったくりの実を「大きな木にしよう」と土にうめました。そこへウサギやサルがやってきて「すぐ食べちゃおう」とさそいますが、リスは「だーめ」とことわります。こんどはクマがやってきて、まさかの“でっかいプレゼント”。そのあと土の中で起きたこととは……？

大きくてダイナミックな絵と、思わずわってしまうおどろきいっぱいの紙芝居です。





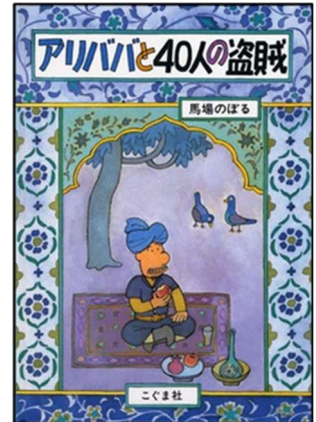
ねんせい む
3・4年生向け



えほん E／むかし／世界

『アリババと40人の盗賊』

馬場 のぼる／著 こぐま社



アリババは、盗賊がほらあなに宝の山を隠していることを知り、こっそり金貨の袋をもって帰ります。それを知ったよくばりな兄カシムもほらあなへ行き、宝を手にとろうとしますが、入口をあける「ひらけえ、ごま！」という呪文をまちがえてしまいます。するとそこへ盗賊たちが帰ってきて……。



ものがたり J913／タ

『黒ねこサンゴロウ 1 旅のはじまり』

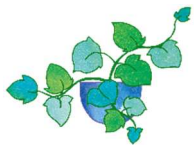
竹下 文子／作 鈴木 まもる／絵

偕成社



電車でお父さんに会いに行く途中、ケン（名前はサンゴロウ）は黒いねこ（名前はサンゴロウ）に出会います。ケン（名前はサンゴロウ）は、「宝の地図」を持っているというサンゴロウといっしょに、途中で下車して探検にでかけることにしました。

シリーズで5巻、さらに続きの話が5巻あります。



ちしき J47

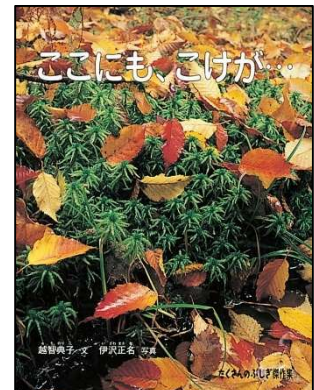
『ここにも、こけが…』

越智 典子／文 伊沢 正名／写真

福音館書店

いつも通っている歩道や校庭のすみ、へいの下をよく見ると、「こけ」が見つかるかもしれません。ルーペで見ると、いろいろな種類があることがわかりますよ。

約4億2千万年前から地球に存在する「こけ」。この本ではその魅力をたくさんの写真で伝えています。





ものがたり J913/キ

『だれもしらない図書館のひみつ』

北川 チハル/作 石井 聖岳/絵
汐文社



夜になると動きだす、学校図書館の本たち。よく読まれる本は
自慢げ、だれからも読まれたことのない絵本の『ひかげのきりかぶ』
は、しずかにすみっこでくらしています。そんなある日、本がつぎ
つぎといなくなる事件が！

うたがいの目を向けられた『ひかげのきりかぶ』の運命は……？

ものがたり J933/ナ

『いたずらっ子がやってきた』

カトリーナ・ナネスタッド/作
渋谷 弘子/訳 こぺんなな/絵
さ・え・ら書房



おばあちゃんの住む島へひとりやってきた 10歳の女の子の子イング。
初めて会ったおばあちゃんは怒ってばかりでイングを抱きしめてもく
れません。島の学校では女の子たちは休み時間も静かにしないといけま
せん。でもイングはおしゃべりやいたずらが大好き。

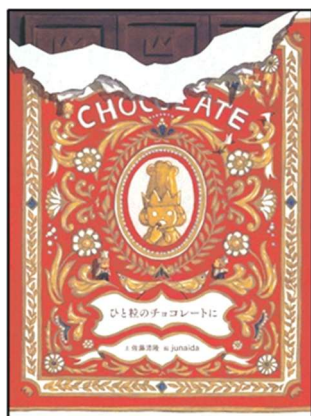
イングが巻き起こす騒動に島の人たちは少しずつ変わっていきます。



ちしき J58

『ひと粒のチョコレートに』

佐藤 清隆/文 junaida/絵
福音館書店



チョコレートは、手で割れるくらいかたいのに、口に入れるとすぐに
とけます。それはチョコレートのなかのカカオの油の性質のせいです。
ほかにも、にがいカカオ豆をどのようにしておいしいチョコレートに
変身させたかなど、人々が研究し工夫して作りあげたチョコレートの
ひみつ秘密がわかりますよ！



5・6年生向け



ケイタの小学校には、転校してくる子がたくさんいます。不思議なことに、友だちになった子の名前は、みんな「ユウキ」でした。仲良くなっても、まだどこかに行ってしまうユウキたち。6年生になった春、4人目のユウキがやってきます。

出会いと別れをくり返す子どもたちの気持ちをていねいに描いた、しみじみ心に残るおはなしです。

ものがたり J913/イ

『ユウキ』

伊藤 遊／作 上出 慎也／画
福音館書店



ものがたり J933/マ

『魔法のルビーの指輪』

イヴォンヌ・マッグローリー／作 加島 葵／訳
深山 まや／絵 朝北社

11歳の誕生日の前日、ルーシーはおばあちゃんから立派なルビーの指輪をプレゼントされます。それは魔法の指輪でした。ルーシーがある願いごとをすると、思いがけず100年前のアイランドにタイムスリップ！ルーシーはお屋敷の使用人として働くことになってしまいました。早く元の時代に戻らなければ……でも指輪が見当たらない？



ものがたり J933/プ

『黄金の羅針盤 上・下 (ライラの冒険)』

フィリップ・ブルマン／著 大久保 寛／訳 新潮社



のびのびと育ってきたおてんば娘のライラ。彼女の生活は、探検家のおじが持ち帰った不思議な情報と、街で起こり始めた子どもの誘拐事件、そしてある女性との出会いによって大きく変わります。大冒険の始まりです！

ライラの住む世界は、私たちの世界と違います。例えば、人間には生涯のパートナー、「ダイモン(守護精霊)」がいます。ダイモンはその人の魂が動物の姿になって現れたもので、おしゃべりをしたり、助けたりしてくれます！

「ライラの冒険」シリーズの第1作目です。



詩 J911/≡

『宮沢賢治（日本語を味わう名詩入門 1）』

萩原 昌好／編 あすなろ書房

『銀河鉄道の夜』や『風の又三郎』で知られる宮沢賢治の、美しい詩を集めた本です。宮沢賢治は少し昔の人なので、今はあまり使わない古い言葉も登場します。でもこの本では、言葉の意味や、詩の読み方が丁寧に書かれています。読み方がわかれば、詩を身近に感じられますよ。

「日本語を味わう名詩入門」シリーズの第1巻です。全部で20巻あり、さまざまな詩人が紹介されています。



ちしき J33

『雷神と心が読めるヘンなタネ こどものためのゲーム理論』

鎌田 雄一郎／著 河出書房新社



“ゲーム理論”という学問を知っていますか？ テレビゲームの勉強ではありません。「他人がどのような行動をするか」を、論理的に予測する……つまり、相手の立場に立って考える方法を学ぶのです。“理論”なんて言葉を使うと難しくそうですが、実は意外とシンプルです。

この本では、小学6年生の啓一にふりかかる身近な問題を、雷神の力を借りてゲーム理論で解決します。みなさんの生活にもきっと役立ちますよ。



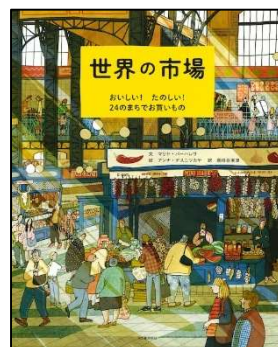
ちしき J67

『世界の市場 おいしい！たのしい！24のまちでお買いもの』

マリヤ・バーハレワ／文 アンナ・デスニツカヤ／絵

岡根谷 実里／訳 河出書房新社

世界にはたくさんの市場があって、日本では見たことのないようなめずらしい食材がずらりと並んでいます。これは、そんな世界中の市場を絵で紹介する本です。すべての市場に本当に行くのは大変だけど、この本を読めば気軽にあちこちのぞき見できちゃいます！





あた はい ほん
新 しく 入 った 本



め み しやうねん いちにち あさ お こま えが
目が見えない少年ハイメの一日を、朝起きたところから細かく描
いています。ベッドから起きて朝の支度をするまで、ハイメ独特の手順を
通して、彼の生活を疑似体験できます。

ある日、ハイメはいつもと違うバスに乗り、ひとりで市場に向かうこ
とに、初めてのことに不安な気持ちでいると、次々とアクシデントにみ
まわれます。

ものがたり J963/モ

『それからぼくはひとりで歩く』

アリシア・モリーナ/作 星野 由美/訳

犬吠 徒歩/絵 ほるぷ出版

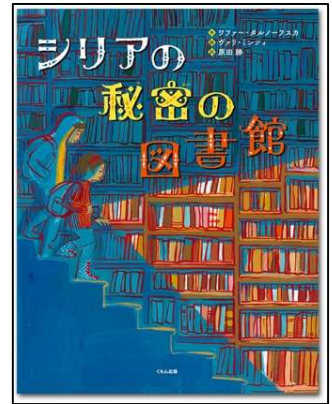
ヌールといとこのアミールは犬の仲良し。ところが、二人が住む町
で紛争が激しくなり、地下に避難して暮らすことになります。そんな中、
アミールは食べ物を買いに外にでる度に、落ちている本を拾って帰るよ
うになり、たくさんの本が集まります。その本でヌールとアミールが
「秘密の図書館」を作るまでを描いた、実話に基づいたお話です。

えほん E/ミ

『シリアの秘密の図書館』

ワファー・タルノーフスカ/作 ヴァリ・ミンツィ/絵

原田 勝/訳 くもん出版



むかし あめ ふ とき
昔、雨が降らない時、おおきなカエルのティダリクが、
すべての水を飲み干してしまいました。

困 ったいきものたちは、なんとかティダリクを笑わせて
水を吐き出させようとします。

えほん E/むかし/世界

『おおきなカエルティダリク オーストラリア

アボリジニ・ガナイ族のお話』

加藤 チャコ/再話・絵 福音館書店

のどがいたいわにさんが、くませんせいにみてもらいま
す。ふくろうのかんごしさんが、口の中に入ったところ、
わにさんの口が閉じてしまいます。わにさんは大あわて！
でも大丈夫、落ち着いたくませんせいがいれば安心です。

かみしばい C

『わにさんとくませんせい』

とよた かずひこ/脚本・絵 童心社

